



# のとちょう 議会だより

発行：能登町議会 発行日：平成26年5月1日 編集：能登町議会広報編集特別委員会



山火事防止パレード

## 第36号の内容

- 3月議会定例会の一般質問・・・・・・・・・・ P 2－4
- 特別委員会の設置・・・・・・・・・・ P 5
- 3月議会定例会の議案質疑・・・・・・・・・・ P 6
- 常任委員会レポート・・・・・・・・・・ P 7
- 議会活動と編集後記・・・・・・・・・・ P 8

# 第36号

# いっぱん質問

## 3月議会定例会の一般質問



志幸松栄 議員

### 問 防災について

能登消防署の移転改築について問う。

### 答 新消防施設の在り方の検討が必要

**町長** 町における消防行政の展望など消防関係者及び地域のコンセンサスを得ながら新しい消防施設のあり方について検討を進める必要があると考えている。

また、期限をみて新年度中に建設に向けて設計費を補正予算で対応しなければならぬと考えている。

### 問 定住促進について

Iターン者向け住宅地開発について問う。

### 答 定住促進に努めていきたい

**町長** 能登の持つ価値が再評価され関心が高まり、移住や定住を考える人は増えてくると考えている。今後は、空き家情報、町有地の分譲情報などを広報あるいはホームページで随時発信し定住促進に努めていきたい。



### 問 環境美化について

ゴミ0（ゼロ）をゴミを拾おうデーに拡大し、全町一斉に実施してはどうか。

### 答 全町一斉というのは難しいと考えている

**町長** 全町一斉の日を設けることは町民の意識の高揚を図ることにつながる。大変良いことと考えている。各地区の事情を考慮すると一斉というのは難しいが、環境美化の推進にはやはり町民の皆様との積極的な協力が不可欠と考えている。

平成26年度より町道路河川愛護活動報奨金制度を設けた。5月から8月までの期間に各町内会単位で今まで以上に町民のご協力をお願いしたい。



鶴野幸一郎 議員

### 問 北陸新幹線開業は大きなビジネスチャンス

北陸新幹線開業は大きなビジネスチャンス。公共交通が不足する当町へ観光客を引き込むには強力な情報発信が必要。例えば無料レンタカーの活用による誘客や公的旅行会社を立ち上げての積極的な町の宿泊売り込みも一計であるがどうか。

### 答 レンタカーの活用は当町への誘客に必要

**町長** 当町への誘客にはレンタカーは最良の手段でもある。町にゆかりのある経験者（観光業）をつのり旅行会社を設立することは良いと思うが、まずは人材を探し出すことがメインと考えている。

### 問 庁舎の在り方は人口と財源の縮小を視野に

**町長諮問の委員会**では「新庁舎建設は当面見送り現庁舎を耐震補強して活用。本庁支所方式とする」と提言。この議会での答弁は「あらゆる可能性を検討する」と変化しているが、委員会の提案と矛盾しないのか。また、人口は半減するとの予測は考慮すべき。庁舎の移転は住民生活に影響があり自治法の壁も厚い。住民意志を尊重すべきだ。

### 答 時代・経済・町民ニーズに柔軟に対応する

**町長** 庁舎建設基金は財政事情が許す範囲で計画的に積み立てる。合併協定は最大限尊重するが、町民ニーズには柔軟に対応することもある。新庁舎の方が既存庁舎の延命よりも良いとも考えるが、議会・住民の意見を充分に踏まえて総合的に判断したい。



市濱等 議員

**問 石川県内浦放牧場能登牛生産計画の進捗状況**

石川県内浦放牧場における能登牛生産計画は3月時点でどのような進捗状況か。内浦地区山口ダムの水質は保てるのか。

**答** 当初300頭、5月敷地造成、9月畜舎完成見込みだ

**町長** 石川県が(株)能登牧場に委託して石川県のおもてなし食材として、年間千頭体制を目指して旧内浦泉地区に取組んでいる。町としても畜産振興、雇用対策になるよう支援し期待している。

当初の畜舎位置の変更や溜めマス・沈殿槽の設置や年数回の水質検査で下流の環境保全に努める。

**問 都市計画、街道路路整備について**

昭和30～40年代に計画された事業が現在も進行中だが、過疎化が進む町の現状を捉え、当初の計画を見直す時期が来ているのではないかと。都市計画、道路街路事業の達成率は。また、見直し検討委員会の方向性は。街路樹撤去の要望への対応は。

**答** 計画された都市計画を推進している

**町長** 町には能都都市計画区域、内浦都市計画区域がある。道路街路事業は25路線、11都市公園を計画・整備している。公共下水道、土地区画整理事業も3地区の整備が完成済みである。都市再生整備計画も順次計画している。都市計画の見直しや規制解除は非常に困難だ。植樹撤去等は沿道の建物等に対する影響等調査検討する。

**問 都市計画税廃止が、公平間のあるものに**

固定資産税の課税標準額が根本的に違う非木造の建築物を所有している事業者にとっては、同じ面積だと木造の建築物と比較するとはるかに大きく、その上の0・3%で大きな負担だ。固定資産税をたくさん払う人はその上の税だ。廃止を。

**答** 都市計画に対する大切な目的税だ。理解を

**町長** 道路整備、下水道事業、土地区画整理事業の地方債償還金に充てる。税は木造、非木造によらず課税標準額は0・3%だ。税収は24年度で5400万円である。

**【目的税とは】**

税金の種類のうち、その使い道を特定し徴収する税金を目的税という。



久田良平 議員

**問 定住人口の増加や交流人口の活性化**

町は様々な施策を講じているが人口流出が止まらない。その手立ては。

また、世界農業遺産登録や能登有料道路の無料化、新幹線開業をステッ プに農林水産物に付加価値をつけ商品化につながる事業が必要では。

**答** 事業の問題点や内容を徹底的に調査分析する

**町長** 定住促進助成金や雇用促進緊急助成金で支援を行なっているが簡単に実現できる問題とは考えていない。これまでの事業の問題点を調査・分析し定住人口・交流人口の拡大につなげたい。また、農林水産物の付

加価値向上のため、6次産業化可能性調査費を予算化し、どのような機材が必要かまた規模など調査し方向性を見出したい。

**問 能登高校の支援策**

町は能登高校へ様々の補助をしているが成果が出ていない。子どもたちや親の期待は大学や専門学校への進学に高まっていると思う。補助金を見直し予備校の講師の雇用などによりマンツーマンでの公営塾の開設や補習授業などへ思い切った補助すべきではないか。

**答** 事業の問題点や内容を徹底的に調査分析する

**町長** 26年度予算編成にあたり支援内容を見直した。従前の補助のほか学習面や進路面での不安を訴える方に応えるためマンツーマンとはいかないが公営塾を開設し学力面でのバックアップを図ることとした。

**問 少子化対策**

平成26年度予算において「すこやか赤ちゃん祝い金」が増額されているがこの一過性の補助金では少子化対策につながらないと思うが見解を。また、少子化対策に保育料を無償にするなど思い切った施策が必要かと思うがいかがか。

**答** 子どもを産み育てやすい環境を目指す

**町長** 少子化は全国的な社会問題でお祝い金の増額で劇的に出生率が上がるものではないと考えている。町は不妊治療の助成や一時保育などを実施し子どもを産み育てやすい環境を目指している。26年度から縁結び隊を組織し婚活を支援していく。保育料は現在、国で定められている基準額表よりも低い額となっている。無料化は国の動向を踏まえた上で検討しなければいけない問題である。



金七祐太郎 議員

**問 町長と議会の関係**

を磨きしつかりとした舵取りでハンドル操作をお願いしたい。

**答 議会と町長は独立、対等である**

地方議会には、大きく3つの役割があるといわれている。一つ目は議決機能。二つ目は立案機能。三つ目は執行機関に対する監視機能がある。特に監視機能を保つには、距離感を持って付き合っていくことが大切である。

町長が考える関係像とはいかなるものか。

また、近年、議会とコミュニケーションが不足していたと思われる。私見だが、町長と議会の関係は、車のボディとハンドルが町長、アクセルとブレーキが議会だと考えている。町民が安全・安心に乗れるようアクセルとブレーキを操作したいと思うが、町長もボディ

**町長** 議会と町長は独立、対等であり、さらにその関係に信頼と幅を持たせお互いに牽制し、調和と均衡を図りながら、今後も町民の意思を尊重しより良い町政の実現を目指して行きたい。

もし私が暴走しようと思ったときにはブレーキをかけていただきたい。しかし私は常に町民・町のためになるかを念頭に置き、町政を担っている。今後はもっと議員とコミュニケーションをとりながら町政運営に努めたい。



向峠茂人 議員

**問 宇出津総合病院に産婦人科医師を招聘できないか**

宇出津総合病院に産婦人科が無くなった経緯を示せ。また、他の病院で定年退職された医師などを招聘することはできないか。

**答 産婦人科医師は全国的に不足している**

**町長** 宇出津総合病院では平成14年10月まで常勤の医師による診察を行っていたが、その医師の退職後欠員補充できていないのが現状。全国的に医師が不足している。定年退職された医師で技術的・体力的に診察できる医師がいれば、病院を改装し招聘したいと思っている。

**問 宇出津新港の活用**

宇出津新港の広大な敷地を町民のふれあい広場として整備できないか。能登井やマスコミに報道されているB級グルメの大会や物産市、展示場、舗装など整備すれば活用できると思うがいかがか。

**答 宇出津新港の活用方は白紙の状態**

**町長** 宇出津新港に関しては現在、白紙の状態である。新港には緑地公園があり公園にはトイレもある。過去にはそこでイベントを行っていたこともあるので、提案されているイベントはその緑地公園でも使用できると考えている。



町会区長会の方々が多数傍聴にこられました

# 『議会基本条例制定』及び『通年議会の導入』に向け 議会基本条例制定特別委員会を設置

## 議会議案

3月6日議会定例会において、発委第一号「能登町議会基本条例制定特別委員会の設置に関する決議について」が追加提出され、質疑・討論を経て賛成多数にて可決された。

### ○提出者

議会運営委員会

委員長 鶴野幸一郎

### ○趣旨説明要旨

近年、地方分権の推進により地方公共団体の自己決定・自己責任の範囲が拡大されてきており、効率的で分かりやすい議会運営を行い、町民の意見を反映した「開かれた議会」を目指すとともに、積極的な政策立案を行っていかねばならない。

議会はこれらの理念のもと、町民の負託に応えていくことを決意し、議会の根幹事項を規定し最高規範となる条例の制定を目指すというものである。



次に、この議会基本条例の制定に併せて、議会運営に関し、通年の会期制の導入についても検討する。この通年の会期制に関し、先進市町での視察研修のほか、全議員と執行部を対象に専門家による研修会を開催するなど検討を重ねてきた。こうしたことから早期導入を目指し、本町に相應しい議会運営のあり方の調査検討を行おうとするものである。

趣旨説明では町民の意見を反映、開かれた議会として条例の制定を検討するとのことだが、私は町民の意見を反映、開かれた議会については大いに賛成である。ただし条例の制定ということについて、私たちの任期は10月までである。こういう重要な問題をなぜこういう時期に出すのか。この問題はまた次回の選出された方々が早急に議論されて可決すべき問題と考え反対討論とする。

### ○討論

反対討論者

志幸 松栄 議員



賛成討論者

南 正晴 議員



通年議会に関して、機動的・弾力的な議会運営に繋がると考える。議会基本条例は議会の在り方を町民に対して宣言するものであり、議会の公開度を上げ、説明責任を果たすため活性化のための運営ルールなどを定めることが目的である。我々の任期は今年の10月までだが、改革の手を止めずに我々の今の責務で出来ることを全うし次の方々に引き継がせるのも我々の今の使命と考え賛成の討論とする。

### 【通年議会とは】

議会の会期を1年（又は約1年）とし、その間は議会の判断で必要に応じて会議を開けるようにする制度。この制度を導入することで、議会が常時活動可能な状態になる。従来の定例会の運用に工夫を加えて実現する方法と、H24年に地方自治法の改正で創設された通年の会期制を採用する方法とがある。

## 議会基本条例制定 特別委員会の委員

委員長

大谷内 義一 議員

副委員長

久田 良平 議員

委員

金七 祐太郎 議員

國盛 孝昭 議員

酒元 法子 議員

南 正晴 議員

向峠 茂人 議員

鶴野 幸一郎 議員

新平 悠紀夫 議員



# 議案をチェック

## 3月議会定例会の議案質疑

平成26年度当初予算の議案質疑ということので、市濱等、椿原安弘、大谷内義一、鶴野幸一郎、向峠茂人、鍛冶谷眞一、久田良平、南正晴、新平悠紀夫、志幸松栄、酒元法子の11名の議員が様々な角度から質しました。

主な質疑を答弁、説明は次のとおり。

### 問 婚活支援事業

答 町婦人団体協議会から推薦された上で、守秘義務や縁結びの養成講座を受講した方々が「能登町縁結び隊」を組織。カップル誕生に向けて出会いのきっかけ作りをする事業。事業費は1000万円。

### 問 町有財産無償譲渡

答 日本海倶楽部へ無償譲渡するが、公園設置条

例の遵守や町民憩い場としての活用等を協議した承をとっている。

### 問 別所岳サービスエリア常設施設の建設

答 のと里山海道の上下線ともに利用可能なサービスエリアで奥能登2市2町が債務負担をして広域観光情報発信施設を建設する。奥能登広域圏事務組合が運営主体となり、特産品販売、飲食スペース、情報発信などの役割を果たす。各市町の建設費用負担は3000万円ずつ。

### 問 奥能登広域圏の消防本部庁舎とデジタル化事業

答 広域圏の消防本部を指令センターと併設する。平成28年4月の無線デジタル化にも対応すべ

く、現在輪島市において建設中。負担金の割合は人口割で50%、均等割分50%である。

### 問 庁舎建設基金2億5000万円

答 庁舎問題に関しては、平成25年2月には有識者の検討委員会から答申、また12月には議会の特別委員会から報告を受けている。町として本庁支

所方式、あるいは改修等も含めて検討せねばならない。現在のところ方式、場所、時期の全てが白紙の状態。町参事が就任したので今後速やかに検討協議を進めたいと考えている。

### 問 国民健康保険特別会計の今後は

答 全国的にも国保の宿

命的問題として高齢者と低所得者層の加入割合が多い現況で運営されている。町としても平成19年の改定から6年が経過しており、保険料の見直しや繰入額の検討など詰めていかなければならない。

### 問 鵜川中の統廃合と鵜川小の移転

答 鵜川中は耐新工事が完了していることや津波ハザードマップでも浸水しない区域となつていることから移転することとした。小学校化の改修は2億円弱ですむがより良い教育環境を整備するため4億円超の予算を組んだ。

### 問 能登牛生産体制事業

答 平成25年1月に赤城畜産が能登町に進出された時には県の補助に合わせた補助したが、地元の15戸の畜産農家にも補助制度を創設すべきと考え、増頭や施設修繕等に対応できるようにする。

### 問 6次産業化可能性調査費200万円

答 水産業者、商工業者、農業者の組織が水産物農産物の単価向上や付加価値を付けるために、どのくらいの規模や機材の冷凍冷蔵庫を必要としているかなどを調査する予算。

### 問 非常備消防団の報酬

答 総務省の普通交付税算定基礎数値から報酬を算出しているが自治体ごとに金額が違う。2市2町では当町が一番低かったが、この条例改正で隣の穴水町とはほぼ同じになる。

### 問 木の駅プロジェクト

答 広葉樹のトン当たり価格は約6000円だが、間伐による針葉樹は約4000円となつている。この差額の2000円を補助する。26年度は200トン買取予定なので40万円を予算計上した。

### 問 地域おこし協力隊

答 人口減少・少子高齢化の進む地方自治体に最終的には定住定着を目的として地域外の人の視点で

地域おこしを進める事業。町外から招く隊員1名につき国の特別交付税で賃金上限200万円、活動費上限200万円の計400万円が措置される事業。

### 問 ふるさと定住助成金

答 Uターン者で新築して居住される方やふるさと空き家情報登録物件を改修して住む方に50万円を限度に助成する。

### 問 観光統一サイン

答 合併からこれまでに観光サイン（案内看板）が統一されていないので、今年度から2カ年かけて町全体のサインを整備する。

### 問 先駆的里山保全地区創出支援事業

答 自分の地域を見直して資源を発掘する事業。これまで、春蘭の里実行委員会や岩井戸地区振興協議会が補助を受けている。26年度から3年間は山口・国重地区の里山振興協議会の採択を目指している。

## 総務

## 委員会

奥成壮三郎（委員長）  
 椿原安弘（副委員長）  
 國盛孝昭・向峠茂人  
 宮田勝三・鍛冶谷眞一

るため職員でワーキンググループを作り、昨年度と本年度の2カ年かけて在り方を探る。

### ●新港バス待機所設営

●旧宇出津駅跡地駐車場に待機しているバスが新港に移動するが、運転手の休憩所まで建設してもそこが発着点になるわけでもない。事業費は全額町が持つ。不合理だ。

●「コンセールのと」の駐車場を多く確保するためバスの待機所を移動する。発着点に関してはダイヤの変更の規則もあり時間を要するが対応したい。

●審査過程での主な質疑応答などは次のとおり。

●姉妹都市推進事業

●姉妹都市の宮崎県小林市、千葉県流山市の2市との交流において、町民の方々の団体訪問の助成について説明せよ。

●町民の方で5名以上の団体が現地視察や市民交流等で訪問される場合、事前に申請が必要ではあるが、小林市で一人2万円、流山市で5千円の助成をする。

●なお、推進事業の一環として姉妹都市交流をより有効有意義なものにする

## 教育民生

## 委員会

市濱 等（委員長）  
 金七祐太郎（副委員長）  
 南 正晴 ・ 久田良平  
 新平悠紀夫・大谷内義一

3月7日に委員会を開催し付託された議案17件を審議。全会一致で可決すべきものと決定した。

●審査過程での主な質疑応答などは次のとおり。

●すこやか赤ちゃん祝い金

●5万円を商品券、残りを現金支給するようだが、全て商品券でも良いのではないか。

●実際に交付された方から意見を聞くと現金が良いという声もあった。4月からは出生届を提出した時点で商品券を交付し、残りを後日口座振込みすることとした。

●子ども子育て支援事業  
 策定業務  
 事業の概要を示せ。

●子ども子育てに関する三法案の改正に伴い待機児童の解消など地域の実情に応じて支援制度を創設する。子育て世代を対象に今年度実施したニーズ調査結果をもとに放課後児童クラブ利用者の支援策など策定していく。

●文化財保護に係る事業計画（埋蔵文化センター博物館）

●検討委員会があつて計画が出来ているのか。出来たものを提示するだけでなく、計画はその過程に委員会に提示するなど、計画過程を大切にしたい。

●埋蔵文化財センターや博物館等の計画はこれから策定する。今後は委員会に相談しながら進めていきたい。文化財保護審議会で平成26年度が町政10周年ということから、町の文化財冊子をまとめる作業を進めている。

## 産業建設

## 委員会

小路政敏（委員長）  
 河田信彰（副委員長）  
 酒元法子・志幸松栄  
 山岸昭夫・鶴野幸一郎

3月7日に委員会を開催し付託された議案30件を審議し全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

●審査過程での主な質疑応答などは次のとおり。

●6次産業化可能性調査委託料

●委託先はどこか。

●町入札によってコンサルタントを決める予定。

●具体的な計画はあるのか。

●現在は現状調査ということで農林水産業ではどのようなものがあるか、加工品はどのようなものが入るのか、そのために必要な施設・規模はどうかなどの6次産業化への可能性調査費である。

●耐震改修補助金

●合宿助成事業

●助成対象が変わったとのことだが概要を説明せよ。

●今までは大学生の地域貢献活動に関するものが助成対象だったが、中高生にも拡大しスポーツ合宿も対象。小学生の修学旅行にも拡充している。

●企業研修は対象にならないのか。

●客目的は地域の魅力発見・創出が目的であり対象外である。

●耐震改修補助金

●概要を説明せよ。

●耐震診断には耐震診断と簡易耐震診断があり、簡易耐震診断は個人負担はかからない。住宅がどの程度耐震性があるのかを診断して、耐震改修をする場合は60万円を限度額に工事費を補助する制度である。

## 1月から3月の主な議会活動

|       |                          |
|-------|--------------------------|
| 1月4日  | 町消防団出初式                  |
| 1月8日  | 議会運営委員会                  |
| 1月10日 | 交通安全祈願祭                  |
| 1月12日 | 成人式                      |
| 1月17日 | 主要地方道能都内浦線道路整備に係る要望活動    |
| 1月22日 | 広報編集特別委員会                |
| 1月23日 | 議会運営委員会                  |
| 1月27日 | 議員全員協議会 議会臨時会            |
| 1月28日 | 石川県町村議会議長会臨時会総会          |
| 2月2日  | 地域福祉セミナー・防災減災セミナー        |
| 2月3日  | 奥能登広域圏事務組合議員研修           |
| 2月7日  | 「立志の集い」 奥能登クリーン組合議会運営委員会 |
| 2月12日 | 奥能登広域圏議員協議会              |
| 2月14日 | のと鉄道運営助成基金事務組合議会定例会      |
| 2月20日 | 奥能登クリーン組合全員協議会・定例会       |
| 2月24日 | 石川北部RDF組合全員協議会・定例会       |
| 2月26日 | 新年度予算内示会 議会運営委員会         |
| 2月28日 | 奥能登広域圏議員協議会・定例会          |
| 3月3日  | 議員全員協議会                  |
| 3月6日  | 議会定例会（開会）                |
| 3月7日  | 各常任委員会                   |
| 3月11日 | 議会定例会（一般質問）              |
| 3月12日 | 議会基本条例制定特別委員会            |
| 3月14日 | 議会定例会（閉会）                |
| 3月22日 | 神野分団消防ポンプ入魂式             |
| 3月25日 | 能登地区町議会連絡会 県町村議会議長会協議会   |
| 3月27日 | 奥能登広域圏事務組合臨時会<br>各学校卒業式  |

## 次の定例会は6月です

議会の日程については、決定したい町のホームページ、または有線テレビでお知らせしていますので、ぜひ傍聴にお越しください。ご意見などありましたら、下記事務局へご連絡ください。

### 編集後記

余寒く長い冬も終わり、桜の咲く季節となりました。さて、能登町議会では、議会改革の一環として議会基本条例制定特別委員会、基本条例や通年議会について議論しております。町民にとって開かれた議会となるよう今後も議論していきたいと思えます。

副委員長 金七祐太郎

### 広報編集 特別委員会

委員長 國盛 孝昭  
副委員長 金七祐太郎  
委員 市濱 等  
小路 政敏  
山岸 昭夫  
鍛冶谷眞一